

○ 探究的な学習とはどのような内容か。また、探究的な学習を進めていく上で、どのような学習過程が考えられるか。

探究的な学習とは、問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく右の図のような一連の学習活動のことである。

探究的な学習を通して期待される児童の姿として次のようなことが考えられる。

- 1 事象をとらえる感性や問題意識が揺さぶられて、学習活動への取組が真剣になる。
- 2 身に付けた知識・技能を活用し、その有用性を実感する。
- 3 見方が広がったことを喜び、更なる学習への意欲を高める。
- 4 概念が具体性を増して理解が深まる。
- 5 学んだことを自己と結び付けて、自分の成長を自覚したり自己の生き方を考えたりする。

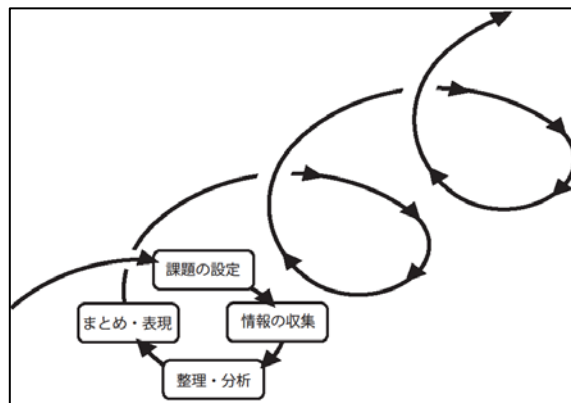


図 探究の過程の連続

なお、探究的な学習では、次のような学習過程が考えられる。

学習過程	内 容	留意点
課題の設定	体験的な活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ。	ア 事前に児童の発達や興味・関心を適切に把握し、児童の課題意識を高めるよう教師が意図的な働きかけを行う。 イ 課題意識を高めるために、課題の対象に直接触れる体験活動を工夫する。
情報の収集	必要な情報を取り出したり収集したりする。	ア インタビューなどの自覚的な情報収集や、体験を通して無自覚に行う情報収集など様々な機会を設定する。 イ 収集した情報を、ポートフォリオ、ファイルボックス、コンピュータのフォルダなど適切な方法で蓄積する。
整理・分析	収集した情報を、整理したり分析したりして思考する。	ア 調べる過程で収集したそれぞれの情報が関係付けられるように整理する。 イ どのような方法で整理・分析するのかを明確にする。
まとめ・表現	気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する。	ア 相手意識や目的意識を明確にしてまとめたり、表現したりする。 イ レポート、新聞、プレゼンテーション、ポスターなど、多様な方法でまとめたり、表現したりする。 ウ 各教科で学習したことを振り返らせ、どの表現方法が活用できるかを考えさせる。